

2006年11月27日

## フッ素樹脂「フルオン® E T F E」の生産能力増強を決定

旭硝子株式会社

旭硝子株式会社（本社：東京、社長：門松正宏）は、主に電線被覆材やフィルム原料として使われるフッ素樹脂 E T F E の生産能力増強を決定しました。今回の増産は、当社鹿島工場（茨城県神栖市）で行い、投資金額は約 25 億円、生産開始は 2008 年第 1 四半期の予定です。

当社は、2005 年から 3 年間の中期経営計画 “JIKKO-2007” において、フッ素・スペシャリティ事業を化学品カンパニーの成長事業と位置づけ、当社の強みを活かせる製品群への注力を図ることとしています。フッ素樹脂 E T F E については、2005 年に鹿島工場での増産を行い、2007 年上期には旭硝子フロロポリマーズ UK（英国ランカシャー州）での増産を予定しており、今回鹿島工場で設備増強を実施することで、当社の生産能力は、今中期経営計画以前と比較してほぼ 2 倍となります。

「フルオン® E T F E」（エチレンとテトラフルオロエチレンの共重合体）は当社が 1975 年に世界で初めて商業生産を開始した高機能フッ素樹脂で、熱可塑性のため成形加工が容易である 耐薬品性に優れている 極めて高い電気絶縁性を持っている 紫外線に強く 10 年以上の屋外使用に耐えうる、などの特徴から、自動車・航空機・ロボットなどに使用される電線の被覆材や液体輸送チューブ、農業用ハウスをはじめとする膜構造物のフィルムなどに使われています。近年、自動車・航空機・家電向け耐熱電線被覆材などの需要が急増し、需給が極めて逼迫していることから、今般増設することとしました。

当社は現在 E T F E 世界全需要の 50% 超を製造・販売しています。今後も E T F E 需要は年率 10% 超で増加すると予想されており、需要増に対応すべく引き続き生産能力を増強していきます。

以上

本件に関するお問い合わせ先：旭硝子(株)広報・I R 室長 川上 真一

（担当：箕田 TEL:03-3218-5408、Email:info-pr@agc.co.jp）